

7月定例教育委員会会議録

開催年月日	平成27年7月24日(金)		
開催日時	午後3時00分		
開催場所	市役所別館 3階会議室		
出席委員	委員長 永山 真江 委員 末次 徳嘉	委員長職務代理者 諫本 憲司 教育長 三笥 眞治郎	
出席参与	教育次長 高倉 謙市 学校教育課長 中島 靖彦 文化財保護課長 柴尾 健二 咸宜園教育研究センター長 池田 寿生 兼 世界遺産推進室長 人権・同和教育室長 伊藤 伸也	教育総務課長 高瀬 享 社会教育課長 田中 孝明 博物館長 財津 光和 淡窓図書館長 安養寺雄二 学校給食課長 池永 晃	
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 福井 龍太郎		
附議議案	議案第72号	日田市立小中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について	
	議案第73号	教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について	
	議案第74号	日田市中学校部活動送迎支援事業補助金交付要綱の一部改正について	
	議案第75号	日田市補助金等交付規則第4条の規定による補助対象、補助率及び補助金等交付申請の時期を定める告示の一部改正について	
	議案第76号	平成27年度日田市特別支援連携協議会委員の任命について	
	議案第77号	日田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
	議案第78号	日田市町並み保存審議会委員の委嘱について	
	議案第79号	日田市文化財保護審議会委員の委嘱について	
	報告第16号	平成27年6月期寄附採納について	
	報告第17号	平成27年度大分県学力定着状況調査結果について	
	報告第18号	夏休み短縮による「授業日確保の取組」のまとめ	

永山委員長	<p><委員長あいさつ></p> <p>それでは、ただいまから7月の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>最初に、前回の議事録の確認をいたします。6月定例教育委員会の議事録について、変更などありませんか。</p> <p>(「ありません」の声あり)</p> <p>では、本会議終了後に署名をお願いします。</p> <p>次に、教育長からの報告事項をお願いいたします。お願いします。</p>
教育長	<p>今日は、子供たちの状況について2点御報告をいたします。</p> <p>1点目は、台風12号です。心配されました1学期の終業式ですが、各学校では前の日に終業式を行うなどして早目の対応に努め、無事に1学期の終業式を終了することができました。現在、子供たちは夏休みに入っておりますが、交通事故等の報告もなく、梅雨が明けておりませんが、無事に過ごしているように感じているところでございます。</p> <p>また、一昨日より中学校の県総体が大分市を中心に開催されております。昨日までの結果は、三隈中学校の相撲が団体優勝、水泳競技でも個人種目4種目で優勝者が出ております。それから東部中の柔道の男子が3位、それからバトミントンの女子が東部中、三隈中ともに3位の結果が出ております。今日行われております剣道女子、それからバレーボール男子が上位入賞の期待がかかっている種目で、今試合が行われていると思います。</p> <p>それから2点目ですけれども、4月に行われました大分県の学力定着状況調査の結果でございます。後ほど、詳しく御説明申し上げますが、小学校5年生の国語、算数、理科の3教科の知識及び活用、それから中学校2年生の国語、数学、理科、英語、4教科の知識及び活用についての結果が戻ってまいりました。</p> <p>小学校は全ての教科で偏差値50を超え、知識活用のほとんどの項目で県平均を上回るという結果でございました。また中学校は全ての教科で、しかも知識活用の全ての項目で県平均を上回り、しかも偏差値のほとんどの項目で50を超えという大変良い結果が戻ってきております。</p> <p>中学校の学力向上が、ここ数年の課題でございましたが、昨年行った福井県の視察あるいは市内の中学校同士の横の連携、管理職同士の連携あるいは教科の先生の連携、そういった取り組みが少しずつ成果となって現れているのではないかと感じております。</p> <p>これを契機にさらに、子供たちの学力定着に努めてもらいたいと</p>

永山委員長	<p>考えているところです。</p> <p>以上でございます。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>議案第72号について、事務局からお願いします。</p>
教育総務課長	<p>議案第72号日田市立小中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について、教育総務課より説明をいたします。</p> <p>教育総務課でございます。議案第72号をお願いいたします。議案第72号は、日田市立小中学校の施設の開放に関する規則の一部改正についてでございます。</p> <p>議案集は1ページから2ページでございますので、よろしく願います。</p> <p>この議案は、日田市立小中学校の施設の開放に関する規則の第5条で学校施設を開放する場合、その施設ごとに開放する日時が定められています。</p> <p>このたび平成24年度で閉校いたしました中津江小学校へ中津江振興局と中津江公民館などが本年8月1日から移転することになりましたので、中津江小学校の夜間照明設備の使用料金を条例から削除する議案を、5月の定例教育委員会の議案第58号として御議決をいただきました。その後、6月の市議会定例会でも同様の議案を御議決いただきました。</p> <p>これを受けまして、日田市立小中学校の施設の開放に関する規則のうち1ページをごらんください。改正前と改正後で表示をさせていただきますが、改正前の太枠の部分、「中津江管内、午後6時から午後10時まで」、この部分を削除しようというのが今回の規則の一部改正でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
永山委員長	<p>議案第72号について、質問、御意見などございませんか。</p> <p>(「ありません」の声あり) よろしいですか。</p> <p>では、議案第72号日田市立小中学校の施設の開放に関する規則の一部改正について、原案のとおり可決いたします。</p> <p>では、議案第73号について事務局からお願いします。</p>
教育長	<p>議案第73号教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について、教育総務課より説明をいたします。</p>

教育総務課長

それでは、議案第73号でございます。教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について御説明を申し上げます。お手元の資料を御参考になってください。

この点検及び評価報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき報告書を作成しようとするもので、今回この報告書の教育庁内部での評価を行いましたので、御審議をお願いするものでございます。

この報告書は、先の6月の定例会で御協議をさせていただきましたが、今年も別府大学の豊田学長、大分大学の山崎教授、佐賀大学の上野教授に学識経験者として外部評価委員への就任を快諾していただいております。

今後の予定でございますが、本日内部評価の原案を御承認いただきましたら、早速3名の評価委員へ報告書をお届けいたします。

8月19日には、評価委員並びに教育委員さんに御出席いただきまして、報告書の内容について説明会を開催する予定でございます。

その後、9月には、外部評価委員から意見書を提出していただきまして、10月の定例教育委員会で教育委員さん方に報告をさせていただきます。

そして11月に開催予定の総合教育会議の報告、さらに定例教育委員会で御承認いただきましたら、12月の市議会定例会で常任委員会に報告し、市のホームページで公開する予定でございます。

なお、一連の協議の中でいただいた意見などは、次年度の事業に反映できるように努めたいと考えております。

それでは、報告書の主な点についてのみ説明をさせていただきます。

まず1枚めくっていただきまして1ページをご覧ください。1ページは目次とこの報告書の目的と根拠となる法律の条文を記述しております。

2ページは、教育委員さん方の役職とお名前、そして日田市教育委員会の組織図となっております。

3ページをお願いいたします。3ページは市教委が所管をしております施設名の一覧となっております。

4ページから6ページは、平成26年度の教育に関する主なニュースと、各種会議の開催状況でございます。

7ページから8ページは、点検評価の方法について記述をしておりますが、7ページには、日田市教育行政実施方針の体系を簡単にまとめております。評価調書は、この体系の項目に沿って各種事業

の成果を評価して、有効性と進捗度に分けて5から2までの点数をつけております。そして、この個別評価の平均点に基づいて教育行政実施方針の主な取り組みがどの程度達成されているかを、AからDの4つのランクであらわしております。

9ページをご覧ください。9ページは報告書の見方、10ページは学識経験者として評価をお願いいたします3名の先生方のお名前と所属となっております。

11ページから17ページは、定例教育委員会会議で御審議や御協議などをお願いした案件を開催月ごとに、また教育委員さん方が出席した会議や学校行事などの一覧となっております。

18ページから71ページまでが評価調書になります。ここでは時間もございますので少し割愛をさせていただきます、平成26年度から大きく変更になった部分のみ紹介をさせていただきます。

まず18ページでございます。こちらは市民と共に創る教育委員会づくりの推進でございますが、この項目は昨年はありませんでした。日田市教育委員会では広報やホームページを活用して定例会の開催のお知らせや議事録の公開、さらにはイベントの告知の取り組みを行っております。

また、この点検評価に関しましても、学識経験者の御意見を頂戴し公表することで、教育行政の推進と説明責任を果たす取り組みを行っておりますので、今回この項目を追加させていただきました。

3つの事業の取り組みの平均値が4.8となっておりますので、総合評価はAとさせていただきます。

続きまして、22ページをご覧ください。ここは学校教育の充実のうち、②確かな学力の育成でございます。

昨年度の報告書でこの項目の対象事業は、小中学力向上対策事業と複式学級解消教員の市費配置事業の2つでございました。外部評価の先生方からの御指摘もありまして、複式学級解消教員の市費配置事業は、43ページの教育環境の整備の項目で評価をすることといたしました。かわりまして、日田市学力向上アクションプランの取り組みをこちらの項目に追加しております。

個別事業の評価でございますが、小中学力向上対策事業の有効性は昨年同様の5でございますが、学力調査の結果、依然として中学校の数学、英語に課題が残ることから進捗度が3、学力向上アクションプランの取り組みについて有効性は5であるものの、学期ごとの検証に問題があり、具体的授業改善が十分に図られていないことから進捗度は4といたしております。評価の平均値は4.2となりますことから、総合評価はBとしております。

続きまして、33ページをお開きになってください。33ページ

でございますが、学校教育の充実のうち③番、人権に関する知的理解と人権感覚を育てる人権教育の指導内容及び指導方法の充実でございます。体験的参加型学習プログラム作成事業並びに学校人権教育事業ですが、両事業とも進捗度が1ポイントずつ上昇しましたことから、平均値が4.7となりましたので、総合評価は昨年のBからAとさせていただきます。

続きまして、37ページでございます。37ページは学校教育の充実とし、安全・安心な学校づくりで、①が安全・安心で快適な学校施設の整備の推進でございます。平均点総合評価に変更はございませんが、一番下の目標達成度の欄をごらんください。学校施設の耐震化でございます。教育行政実施方針の目標値は平成28年度で耐震が100%としていますが、非構造部材を除きますと82の施設全ての耐震化が平成26年度で終了いたしました。

続いて、43ページをご覧ください。先ほど22ページで御説明をいたしました、複式学級解消教員の市費配置事業は、学校教育の充実のうち、②安心して学べる支援事業の推進の項目へ移動をさせていただきます。

次に、隣の44ページをご覧ください。学校教育の充実のうち、①地域と連携した学校づくりの推進でございます。平均値、総合評価ともに昨年と変化はございません。ただし、個別評価の事業数が昨年度は2つでしたが、今年度は3つの事業で評価をすることとしております。

内容でございますが、昨年度は学校評価と学校運営協議会に関する研究の推進という1つの事業としておりましたが、今年度は学校評価と学校運営協議会に関する研究の推進を別の事業として評価をさせていただきます。

続きまして、45ページをご覧ください。45ページは、学校教育の充実のうち②家庭と地域との連携、協力体制づくりの推進です。総合評価のAに変更はございません。ただし、2項目の事業の基本的学習習慣の徹底及び家庭学習支援の項目でございますが、昨年度は基礎基本となる学習の定着には家庭学習が欠かせないことから「家庭学習の手引き」を作成いたしましたものの、この手引きが活用できていない学校がございましたが、今回は改善が図られたことから、有効性・進捗度ともに5といたしております。

続きまして、49ページをご覧ください。ここは学校給食費の未納問題の解消の報告でございます。昨年度は平均値4.2、総合評価Bでございました。今年度は徴収率が大変大きく改善されておりますので、A評価とさせていただきます。

続きまして、54ページでございます。社会教育の充実のうち、

②地域の独自性を増した生涯学習推進のための学習環境の整備で
ございます。

昨年度の報告書には前津江公民館の移転整備事業と大鶴公民館整備
事業がございましたが、ともに完了いたしましたことから、今年
度は中津江公民館移転整備事業と中央公民館整備事業の2つの項目
となりました。

ちなみに中津江公民館は、今年8月から旧中津江小学校に移転す
ることが決定いたしております。

次に、58ページをご覧ください。ここは社会教育施設のうち博
物館の整備に関する項目でございます。個別評価の2番目の博物館
施設整備事業は、昨年までは複合文化施設整備事業でございま
したが、事業名を変更させていただいております。

次に、60ページでございます。ここは社会教育の充実のうち図
書館についての項目でございますが、3番目に管理・運営方針の見
直しの項目を追加しております。これは利用者アンケートや意見、
情報で寄せられた開館時間の延長や祝日開館の実施など運営方針の
検討についての項目となっております。

続きまして、70ページから71ページでございます。ここは文
化芸術の振興のうち①保存と活用に向けた環境の整備でございま
す。

1枚めくっていただいて71ページに、豆田まちづくり歴史交流
館管理運営事業と草野家住宅保存整備事業を新規で追加いたして
おります。

以上が今回総合評価を見直したものと、事業の見直しを行った事
業を簡単に説明をさせていただいております。

本日御意見をいただきました内容、もしくは後日でも結構でござ
いますので、お気づきの点がございましたら御連絡いただきまし
て、その内容を反映して先生方にお届けをさせていただきたいと
思っております。どうぞよろしく御審議をお願いいたします。

以上でございます。

永山委員長

ありがとうございます。

議案第73号教育に関する事務の管理及び執行の状況についての
点検及び評価報告書について、御意見、御質問をお願いします。ど
うですか。

1つ、質問なんですけど、40ページの一番下の私立の高等学校
への教育振興事業（学校補助）の項目については、多分ここ数年
ずっと有効性についての話題が出てたと思います。この項目がある
限り、今後も有効性の数字が低いままていくのかなと思っているん

<p>教育総務課長</p>	<p>ですが、どこかの時点で見直しをするという考えはあるのでしょうか。</p> <p>教育振興事業でございますので、市内の藤蔭高校と昭和学園高校、それと日田高の定時制のほうに、わずかでございますが補助金を差し上げております。その補助金は学校施設の整備等に使用いただいておりますので、それぞれの学校からは感謝をいただいているという状況に間違いはございません。</p> <p>ただ、この金額が、ここもう数年ずっと同じ金額でいっておりますので、金額が果たして学校が必要とする補助金の額に見合った額がどうかも含めて見直さないといけないということで、実は私が引き継ぎを受けましたが、前任者が、もうこの補助金の廃止も必要ではなかろうかということで、一度学校に投げかけさせていただいたところ、やはりこれは有効なものだからということで御意見を伺ったということでございます。</p> <p>内部でも協議をする中で、必要によってはこの補助金の金額を上げるということも考えてはいいのではなかろうかという意見もあります。来年の事業の際には、その辺の分も含めて内部で検討させていただくということで、今後の事業成果の評価については、事業内容等の見直しは行う必要があるということで記述をさせていただきます。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>わかりました、ありがとうございます。</p> <p>はい、お願いします。</p>
<p>諫本委員</p>	<p>37ページの一番下に、特別教室とエアコン設置の件が出てますね。普通教室は、ほとんど設置ということで進捗がありましたが、懇談会などに行ったときに、よくこの話が出てきて、他のことを優先して、特別教室とエアコン設置が少し後回しになっているような回答だったと思います。</p> <p>それと他の地域に比べると随分進んでいるというような答えをしていると思いますが、目標値の28年に100%に向かっているということでよろしいでしょうか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>教育実施方針は、平成24年度に24から28の5カ年の計画で作っております。作った当時はエアコンの設置は100%という目標にしたのは、間違いございません。</p> <p>ただ、その当時から学校統廃合が進みまして、例えば3つの新しい小中学校を作らないといけないということを併せて、学校の統廃</p>

	<p>合あるいは一部耐震補強等で、大体一般会計予算の毎年1割ぐらいが教育予算だったのが、一時期は14%から15%ぐらいまで、約1割強ぐらいまでの予算をいただいて学校を作ってまいりました。その中でやはり子供たちの教室の安全性を確保するのが優先ということで、耐震化、学校の新設を行ってまいりました。</p> <p>今度は、築後30年も経ってる学校も一方では整備をしないといけないということになっておりますので、南部中学校だったと思いますが、エアコンの設置について意見がございましたので、県下のエアコンの設置の状況について説明をする中で、大分県の中でも日田市は特に普通教室、特別支援教室は全て100%設置をしており、今後は、果たして音楽教室にするとか例えば図書室、パソコン教室にもエアコンを設置をしていかないといけないのかどうかというのは、今後の整備計画の中で一度検討させていただきたいというふうに返答をお返ししたところでございます。</p> <p>ちょうど来年が、28年度が目標年度になりますので、当然28年度に100%を達成するというのはもう難しい問題がございますので、その辺はまた教育委員さん、教育長とも御相談させていただきながら、果たして全ての教室にエアコンを設置するのが必要かどうかというのは、検討をもう一度させていただきたいというところでございます。</p> <p>ただ、今の教育行政実施方針では、確かに28年度の100%目標というものは変わっていないというのは事実でございます。</p>
<p>諫 本 委 員</p>	<p>ちょうど今、ものすごく暑いなか夏期の授業もやってるし、冬は冬でまた、やはり他の地域に比べては気候的には大変厳しいですね。今言われたような事情もよくわかりますので、次の計画のときにどの程度まで必要なのかとかいうことは検討する必要があるでしょう。今後やはり設置していく必要もあると思います。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>日田市は合併以後学校統廃合進めてきて、併せて学校の耐震化を進めてきております。少し昔の分をひもといてみると、学校でエアコンをつける授業というのは文科省で補助事業があります。ただ年間の最低事業費が400万円を超えないといけないんですが、400万円を超えてエアコンを設置すれば3分の1が補助金で、文科省は今まで県下で、日田市以外のところがエアコンの設置が進んでいないというのは、恐らくエアコンをつける補助を申請しても、文科省は平成27年までに耐震化を100%示されていることで、補助金をそちらのほうに優先的にお配りをしたという経過があるようでございますので、なかなか県下のエアコンの設置が進んでないとい</p>

	<p>う実情があるようです。</p> <p>たまたま日田市は学校統廃合が他県、他市に比べて先に進みしましたので、耐震化も少し前倒しでできまして、あわせてエアコンの設置もできておりますので、28年度以降全国の学校の耐震化の進捗と文科省のいわゆる教育施設の整備に補助金が国からどれぐらい降りてくるかというのも、一つ参考にしたいと思っています。</p>
永山委員長	<p>60ページの図書館のところですが、3つ目のところ、管理運営方法の見直しについて、少し進捗度が低いですね。これは6ページのところを見ると、図書館協議会の出席人数が1回目が半数だったりしてありますが、進捗状況に影響していますか。</p>
淡窓図書館長	<p>協議会については委員の皆さんに出席をいただいて運営方針についての協議をしていただいて、大体方向性は出ていますが、その方向性について内部の協議が、少し進んでないということで、進捗は3としております。</p>
永山委員長	<p>進んではいるんですね。はい、わかりました。</p> <p>ほかに御質問ありますか。お願いします。</p>
諫本委員	<p>49ページの学校給食費の未納の件がありますね。大分改善されたということで、お疲れさまでした。</p> <p>頑張って督促して、苦勞されたと思いますが、どんな状況だったのか説明いただければと思います。</p>
学校給食課長	<p>未納解決問題につきましては、これまで過年度分についての取組が進んでなかったという原因がございまして、昨年からその部分につきまして力を入れまして、普段もそうなんですけども、過年度分について家庭訪問を行いながら納入についてお願いしてきました。</p> <p>それから、今年もそうなんですけど、今ちょうど8月になりますと給食がございませぬので、その期間につきましては職員が手分けして、そういった未納の世帯について訪問しながら納入についてお願いをしております。今年度もまた8月に集中的な取組を手分けして行うというようなことで、過年度分についての納入がかなり上がってきたという現状があって、こういった形の評価になっているところがございます。</p>
諫本委員	<p>なかなか言いづらい点などもあって難しいと思うんですけど、本当に厳しい方には、それなりの措置があつてのことだと思っております。</p>

<p>学校給食課長</p>	<p>で、やはり不公平感ということでもよく話題には上る件なので、頑張っていたいただければと思います。</p> <p>現年度でやはり、どれだけきちんと納入していただくかというのがやはり一番重要ではないかと思っておりますので、その部分についても現年部分も収納率が非常に良くなってきてますので、そうなりとやはり未納の部分も減ってくるのではないかと考えております。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>ほかに御意見、御質問はありませんか。</p>
<p>末次委員</p>	<p>44ページの家庭と地域と連携した学校づくり、すなわち学校運営協議会、このことについて何かもう少し基本姿勢を、いわゆる補助制度があるからとか主幹教諭が配置されたことでスタートしていますが、これもまだ道半ばであり、積極的に取り組むのか、今の指定校の歩みを見ながら、いわゆる市の教育委員会の姿勢を将来的なものを見定めていくということなのか、この辺が先生方から評価を受けるときに、御意見いただくのではないかと考えているのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>今御指摘のございました学校運営協議会に関することですが、委員のおっしゃるとおり、現在のところは主幹教諭を配置しております三芳小学校と光岡小学校において、平成26年度からですけれども、進めていこうということにしてはしております。</p> <p>ただ、なかなかこちらでいつまでにどういう方向でということを示しておりませんでしたので、進んでいないのが現状でございます。その中で三芳小学校のほうが、組織を作りまして、ことしの5月から取組を進めるようになりました。</p> <p>今後、これは今年度になりますけれども、早速、今月中に校長先生の役員の方にお集まりいただきまして学校運営協議会、コミュニティスクールについての研修会を開くようにしております。そして、その中で、まだはっきりと方向性というのがいつまでに何をどの方向でということまでは決まっておきませんが、コミュニティスクールについては進めていきたいと思っております。</p>
<p>末次委員</p>	<p>学校運営協議会の取組に対して私たち教育行政が位置づけをもう少しきちっと整理して、学校にそういう取組を理解して進めてもらうときに、今、学校現場が多忙なときですから、エンジンがかからないというか、ただ行政が押していくだけではどうかなと思っております。必要か必要じゃないかということ、余り頑なにそこに整備する</p>

<p>教 育 長</p>	<p>必要はないと思いますが、もう少し教育委員会側の思いというのか、まだまだ固まり切れてないのかなという気がしています。</p> <p>補足しますが、これに関しては国あるいは県の動向を見ますと、やはり強力に進めていくと。今、目標共同達成校という呼び方であったり、コミュニティスクールという呼び方であったり、色々なものがあります。例えば、育友会組織という従来から地域と一体連携している組織というのがあるわけです。地域によっていろんな組織があり、やはりこれからは学校は地域とますます一体となって、地域づくりも含めて運営していかなければならないということで、強力に進めていくという方針は国も県も出しております。</p> <p>それで、国・県もコミュニティスクールと言いはしてませんが、目標協働達成校という形で来年度あるいは再来年度までには、県内の全学校でそういう体制づくりを進めていくという方針を本年度出しておりますので、日田市教育委員会としましても、その方向で進んでまいります。本年度いくつかの学校では、学校独自で進めてもらっていますが、研修も兼ねてあるいは来年度あたりは1つモデル校などを設置し、推進ステップという方針のもとに2年ないし3年で運営協議会、名称はちょっと変わるかもしれませんが、そういう組織を進めていくという教育方針ではどうかという協議を中心に検討しているところでございます。</p> <p>また、学校からも聞きながら教育委員会でお諮りをして、今年度中にはその辺を固めていければと思っているところです。</p>
<p>末 次 委 員</p>	<p>一般にトップダウンしてきた事業というのは、補助事業でもそうですが、なかなか燃えない部分のあることが否定できない。</p> <p>だから、この段階で、地域づくりの中で学校運営協議会をあえてここに上げる必要があるだろうかという気がしています。確かに、ここに上げた以上は2年計画でも3年計画でもいいですが、目的に近づけるための足跡、実績の整理は必要ですが、ここに載せることを検討する必要があると思いました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>そうですね、この場の協議会、今度3年目ですかね。</p> <p>委員おっしゃるとおり、少し早く上げすぎたというきらいはありますが、これは進めていかなければいけないと思っています。</p> <p>したがって、逆に言えば早く上げていただいたから、これからは少しエンジンをかけて進めていきたいと思っています。</p>
<p>末 次 委 員</p>	<p>玖珠のコミュニティ関係の勉強をさせていただく機会がありまし</p>

<p>諫 本 委 員</p>	<p>たが、そのときでも少し立ちどまって考えるような空気を感じとったものですから、お考えをお聞かせ願ったところです。</p> <p>その件で、私も、今非常に大事な内容だろうと思っています。例えば周辺部に行けば、どうしても学校を残したいという思いが懇談会などでも、いろんな話として聞いてきます。そのときに地域の人たちが、もう自分たちはどんどんかかわってもいいから残して、地域づくりとともに、学校の地域づくりの拠点として子供を育てていきたいとかいう要望とかもかなりあったと思うんですね。</p> <p>そういう意味合いからも、その周辺においてはこれが、名称はともかくですけれども、地域が学校に入ってきて一緒に運営をしていくというのは必要だろうと思いますし、中心部の大規模校においても、やっぱり保護者の方の数も相当多いでしょうけれども。その中で全員がということではないけど、形として保護者のほうも学校運営にかかわるといって、保護者の要望を踏まえて学校教育を運営していくということは、イコール先生方の負担も運営という限りでは軽減されるでしょうし、その分子供と向き合うところに先生方には時間をかけてもらったほうが、それは確かにいいのかなとか思いますので、ぜひ進めていただきたいなと思っています。</p> <p>そうしたときに、これからでしょうが、やはりPRが足りないだろうと思います。学校の現場から試行的にやってるといっては、やっぱり安全側を見ていくと言うとおかしいんですけども、確かめながら進めていくというのがあります。</p> <p>それはもちろん大事なことなんですけれども、醸成されてきたんであれば、達成した学校運営協議会できたところの到達した形とかいうことを、もう少しメリットを、どんなふうがいいんですよというのを示して、「こうなりますよ」、「そこに向かいましょう」というようなことは必要だろうと思います。それは教育委員会側からでも限度がありますので、今ちょうど総合会議とかあって、地域振興とかいう市全体の流れの地域づくりの中から、そちら側でも学校が捉えてきていると思うのです。</p> <p>ですから、一体として学校運営協議会の設立というか、そういう学校の形式を進めるような考え方をとってもらって、全体でやはりPRしてそこに持っていくほうが、もし本当にそれがやはりいいんだということを皆さん確認されていってるんだったら、もう両面からやらないと今先生が言われるように、本当に進めるのかなみたいなところになってくるんじゃないかなと思いますので、私個人としては広く積極的にやっていただきたいなというふうに思ってます。</p>
----------------	---

教 育 長	<p>小中一貫校を設置した学校あたりでは、地区懇談会でもそういう意見がこの前も出されておりましたし、今、委員さんの御意見もお伺いしながらやはり、地域に合った形というのがあるかと思えますので、先ほど申しましたスピードアップしてというか、そういう形を本年度中に検討して、また来年度からは形に見えるものを学校教育課を中心に計画していければと思っております。</p>
諫 本 委 員	<p>できれば地域のほう側から、私たちがやります、という形で出てくるような機運が出てくると、形としてはいいのかなと思えますけどね。</p>
末 次 委 員	<p>学校運営協議会、これらの行き着く先が学校経営といいますか、それに厚みをもたせて、充実させていくための協議会、組織づくりも一つの考え方ですが、教育懇談会で周辺地域に行きますと、やはり子供さんの少ないところは地域の元気さといいますか、活性化あたりについて考えさせられます。そこで、前向きに考えて、学校運営協議会の中で、学校が地域振興の一つの大きな役割を背負っていることで、運営協議会に投げ込み、地域と行政が共有して取り組むことも考えられます。ことも考えられます。</p> <p>この前から教育懇談会で統合の問題あたりに御意見をいただいておりますが、今のところ全く統合の具体的なプランはありませんが、そういう事態になったときに、学校運営協議会というものが学校をつくり上げていく、地域を元気づけるような形で行動しておけば、十分教育委員会と地域協議会と真剣に話し合う中でまとめていく場合、どちらに転ぶかは別として、本当に問題を共有して知恵を出して頑張っていける、そういうところを学校運営協議会に求めていく必要性が、特に周辺地域は中心部よりもあると思われまますので、あえて取り上げさせてもらいました。</p> <p>以上です。</p>
永 山 委 員 長	<p>ほかにありませんか。よろしいですか。</p> <p>(「ありません」の声あり)</p> <p>では、きょう出た意見はまた今後の検討、課題の中でまた考えていただくということで、議案第73号教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書については、原案のとおり可決いたします。</p> <p>では、議案第74号について、事務局からお願いします。</p>
教 育 長	<p>議案第74号日田市中学校部活動送迎支援事業補助金交付要綱の</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>一部改正について及び議案第75号も関連して、学校教育課より説明をいたします。</p> <p>学校教育課でございます。議案第74号日田市中学校部活動送迎支援事業補助金交付要綱の一部改正についてでございます。</p> <p>議案集は4ページ、5ページになります。この中学校部活動送迎支援事業補助金は、平成24年度から学習指導要領に明記されました中学校部活動の公式試合等への参加に係る生徒輸送時の安全確保を目的に補助を行うものでございます。</p> <p>その公式試合の中で、従来保護者負担としておりました大分市近辺で開催される県の新人戦について、民間バスにかかった経費の一部を補助し、任意参加であることから残りを保護者に御負担いただいている制度でございます。</p> <p>この補助金交付要綱は昨年度より運用しておりますが、事業終了後各学校の担当者と、その内容の検証を行いました。</p> <p>その中で当初想定をしていなかった民間バス使用料の大幅な値上がりによる乗車人数の差から来る1人当たりの負担金の大きな格差や、1円単位で徴収する事務の負担など改善を要する必要性が生じました。</p> <p>このことから保護者負担の公平化を図るため、対象経費と補助金額について補助金交付要綱の一部の改正をお願いするものでございます。</p> <p>改正内容については、議案の表をごらんください。表の右側が改正前、左が改正後でございます。その表の改正前の下線部に対応する部分を改正後のように改め、また加えるものでございます。</p> <p>改正内容の1点目は、補助対象経費に補助対象外としていたタクシーやスクールバスを対象とするものです。この事業を行う上では、経費の安いスクールバス20台を優先的に使用し、対応できないものについて民間バスを使用しております。</p> <p>また、当初1人当たりの負担額を平均1,000円程度を想定し、この補助金交付要綱を定めているところでございます。</p> <p>タクシーの利用については、部によって10人以下の人数の少ない部や個人戦のみ参加する実態もあり、その場合民間バスを使用するよりもジャンボタクシーを使用したほうが料金的にも安価となるケースが今後考えられます。このことから、運輸局が示す貸切バス事業のみを定義とした一般貸切旅客自動車運送事業をタクシーなども含めた一般旅客自動車運送事業のくくりの中で運用し、「貸切バス」を「車両」と文言の一部改正を行うものです。</p> <p>また、スクールバスにつきましては、民間バスと比較し使用料が</p>
---------------	--

安価であり、25年度の実績が1人当たり1,000円程度の負担実績となっていたことから、補助対象外としていたところでございます。

しかしながら、乗車人数が少ない競技等については、1人当たりの負担金が2,000円を超える実態も見られることから、保護者負担の公平性の観点からスクールバスを対象に加えるものです。

次に、補助金額の改正でございます。改正前は民間バスにかかる経費を対象に4万円を限度とし、かかった経費の3分の2を補助、その残りを保護者に負担をいただいております。

昨年度貸切バスの運賃制度の改正により大幅な値上がりがありました。その結果、1人当たりの負担金が乗車人数により2,000円を超える実態が見られましたことから、保護者負担の公平性の観点から1人当たりの負担額を1,000円に統一し、残りの事業費に対し補助をするものです。

このことから改正前の補助対象経費に3分の2を乗じて得た額、ただし、その額は4万円を限度としていたものを乗車人数に1,000円を乗じて得た学校を除いた額を補助するものと変更するものがございます。

続いて、議案第75号日田市補助金等交付規則第4条の規定による補助対象、補助率及び補助金等交付申請の時期を定める告示の一部改正についてでございます。

議案集6ページになります。先ほどの議案第74号の一部改正に伴い所要の措置を講ずるもので、日田市補助金等交付規則第4条の規定による補助対象、補助率及び補助金等交付申請の時期を定める告示を改正する告示を次のように定めるものがございます。

次の表の改正前の下線が引かれた部分を改正後の下線部のように改めるものがございます。

内容は、補助率の項目について3分の2、ただし限度額4万円から予算で定める額とし、補助金交付要綱に沿った内容に改正を行うものです。

予算で定める額とは今回1人当たりの負担額を1,000円に統一し、残りの事業費に対し補助を行い、補助率が学校により異なることから定められた予算の中で運用を行うものがございます。

以上でございます。

永山委員長

ありがとうございます。

議案第74号と75号、部活動の送迎支援事業の補助金についてです。御意見、御質問などありませんか。

これ質問です。文化系の部活動にも同じ適用がされるのでした

	<p>ね。体育、試合があるときだけで、一番最初にこの補助金の話が出たときに、文化系のという話が一度ここで出たと思うんですけども、例えば夏の間には吹奏楽の大会とか大分市のほうで県大会とかがありますね。その楽器の輸送とかで多分大きなバスを使うのではないかと思うのですが、そのあたりの補助は同じ条件ではないのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>文化部の扱いにつきましても、中学校部活動送迎支援事業の中で、バス代につきましては市のほうで負担をしております。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>はい、よろしくお願いいたします。 御質問はよろしいですか。いいですか。</p>
<p>諫本委員長</p>	<p>広く、使える範囲が広がるということで有効でしょうし、一律制とかいうのは数字からいっても皆さん了解していただける数字だろうと思うのでいいと思っています。</p>
<p>永山委員長</p>	<p>よろしでしょうか。（「はい」の声あり） では、議案第74号日田市中学校部活動送迎支援事業補助金交付要綱の一部改正について、それから議案第75号日田市補助金等交付規則第4条の規定による補助対象、補助率及び補助金等交付申請の時期を定める告示の一部改正について、原案のとおり可決いたします。 それでは、議案第76号について事務局からお願いいたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>議案第76号平成27年度日田市特別支援連携協議会委員の任命について、学校教育課より説明をいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案第76号平成27年度日田市特別支援連携協議会委員の任命についてでございます。 議案集は8ページと別紙資料がございます。日田市特別支援連携協議会設置要綱をごらんいただきたいと思います。 本案は、委員の任期の満了に伴い、日田市特別支援連携協議会設置要綱第3条2項に基づき任命するものでございます。 初めに別紙資料をごらんください。第1条に設置目的がございます。この協議会は学習障害、注意欠陥多動性障害及び高機能自閉症等を含めた障害がある乳幼児、児童生徒に対する教育支援体制の整備を図るとともに、支援の充実に向けた協議を行うことを目的としているものでございます。</p>

<p>永 山 委 員 長</p>	<p>8 ページをごらんください。現在 13 名の委員で構成をしており、医療、保健、福祉、教育とそれぞれの区分から委員を推薦、任命するものでございます。</p> <p>今回新任の方 6 名、再任の方 7 名、あわせて 13 名の委員の任命をお願いするものでございます。よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>議案第 76 号について御意見、御質問はありませんか。よろしいですか（「はい」の声あり）</p> <p>では、議案第 76 号について、原案のとおり可決いたします。</p> <p>次に、議案第 77 号について、事務局お願いいたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>議案第 77 号日田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について、社会教育課より説明いたします。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>それでは、議案第 77 号日田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について御説明申し上げます。</p> <p>議案集の 9 ページから 18 ページでございます。本案につきましては、10 ページの提案理由にありますとおり、日田市夜明公民館の移転に伴い、所要の措置を講ずるものでございます。</p> <p>移転につきましては、現在の場所から旧夜明小学校を改修し、振興センターとともに移転を行うものでございます。</p> <p>一部改正の内容につきましては、まず 9 ページをごらんいただきたいと思えます。夜明公民館の位置の変更でございます。公民館の移転に伴い住所を改正前の欄、「大字夜明（夜明中町）1447 番地 2」から改正後の「大字夜明（夜明中町）1547 番地」に変更を行うものでございます。</p> <p>次に、10 ページをお開きいただきたいと思えます。利用料金の限度額の改正でございます。今回体育館を大集会室として新たに所管いたしますことから、改正後の欄でございますが、新たに夜明公民館を「会議室・大会議室」と「大集会室」に区分をし、利用料金につきましては、他の公民館の利用料金を参考にして会議室・大会議室を 1 時間につき 320 円、大集会室を 640 円、冷暖房料を 200 円に設定するものでございます。</p> <p>附則といたしまして、本条例は、平成 27 年 10 月 1 日からの施行でございます。</p> <p>続きまして、11 ページ、一部改正についての概要の資料をつけております。11 ページの中ほど 4 番、夜明公民館移転の経過について簡単に御説明を申し上げます。</p>

平成23年の3月に夜明小学校が閉校いたしまして、大明小学校が開校をいたしました。その後、夜明小学校跡地利用対策委員会より跡地利用に関する報告書が提出され、それに基づき、現在、市、これは地域振興課の所管になりますが、そちらのほうで改修工事を行っているものでございます。施設につきましては10月1日から供用開始の予定でございます。

続きまして、資料の13ページをお開きいただきたいと思います。施設の具体的な利用計画及び整備の概要を掲載をいたしております。

中ほどの(2)利用計画の概要、こちらの項目で今回の整備計画について御説明を申し上げたいと存じます。

まず、①学校施設の継続利用ということで、今回施設を改修して利用を行うものでございますが、②から④でございますが、幼と老の共生事業を実施するというので、今回公民館及び振興センターが移転するほか認定こども園と地元のまちづくり運営委員会がこちらの施設を利用するというものでございます。

さらに⑤といたしまして、災害時の避難所としての施設の活動をいたすものでございます。

その下にありますが、具体的には建物の1階につきましては公民館と振興センターの事務室及び会議室、大会議室等に改修を行うものでございます。

2階につきましては、普通財産として財政課とこども未来室が所管となりまして、認定こども園に有償で貸し付けを行うものでございます。

また、3階につきましては、同じく普通財産として地元の夜明まちづくり運営委員会に無償で貸し付けを行います。

さらに屋内運動場及びグラウンド等につきましては、社会教育課が公民館施設として管理を行うものでございます。

続いて、14ページでございますが、公民館等の面積でございます。今回夜明公民館といたしましては、1階のほか2階と3階に共有部分がございますので、こちらのほう含めまして962.54平方メートルが公民館の建物の面積ということになります。

なお、15ページ以降につきましては、建物改修後の平面図を資料として添付をいたしているところでございます。

説明は以上で、御審議をお願いします。

永山委員長

ありがとうございました。

議案第77号について、御意見、御質問はありませんか。ないですか。よろしいですか。

<p>諫 本 委 員</p>	<p>13ページの利用計画の概要のところ、「幼と老の共生」というのが項目が上がって、本当は今の周辺部のことを考えると特に必要のところだろうと思いますし、周辺部以外でもやはり先ほど話してないんですけど、地域と子供たち等の関係を密接にしているとか、地域を育てるということを考えると非常に大事なことだろうと思います。</p> <p>そういうことから、今後17ページにあります平面図でいうと認定こども園とまちづくり委員会になるんですかね、会議室とかいうのが同じ階に設置してあるというようなことになっているんですかね。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>先ほどの御質問でございますけども、17ページの2階の平面図でございますが、真ん中に保育室が3室ございまして、両脇をまちづくり運営委員会の会議室、図書室ということで利用されるということで、もともと地元の方のほうが、やはりこの施設については子供とそれから高齢者が毎日交流ができる、そういった施設の活用を図りたいというような計画書が市に提出をされまして、それを実現するためにこういった配置としたところでございます。</p> <p>ですから、子供とそういった地元の方が自由に行き来できるような施設ということで計画しているものでございます。</p>
<p>諫 本 委 員</p>	<p>特に老というふうに限るわけでは多分ないんでしょうけど、表現としてそうなっているのかなと思いました。わかりました。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>そうですね。幼と老としまして高齢者だけではなく、地域の大人の方と子供が顔見知りになるというような施設の実現を図りたいと思っております。</p>
<p>永 山 委 員 長</p>	<p>ほかにありませんか。（「はい」の声あり）よろしいですか。</p> <p>では、議案第77号日田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について、原案のとおり可決いたします。</p> <p>では、議案第78号について、事務局からお願いします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>議案第78号日田市町並み保存審議会委員の委嘱について及び議案第79号日田市文化財保護審議会委員の委嘱については、文化財保護課より説明をさせます。</p>
<p>文化財保護課長</p>	<p>議案集の19ページをお願いいたします。議案第78号日田市町</p>

	<p>並み保存審議会委員の委嘱についてでございます。</p> <p>日田市観光協会会長の変更に伴いまして、前任の日田市観光協会会長石丸邦夫委員にかわり、新たに日田市観光協会会長に就任されました富安裕子様の後任をお願いするものでございます。</p> <p>委嘱期間につきましては、前任の残任期間となります平成28年5月31日までとなっております。</p> <p>続きまして、20ページをお願いいたします。議案第79号日田市文化財保護審議会委員の委嘱についてでございます。</p> <p>本議案は、委員の任期が7月31日に満了になりますことから、日田市文化財保護条例第47条の規定に基づきまして学識経験者、関係行政機関職員のうちから教育委員会が新たに委員の委嘱をお願いするものでございます。</p> <p>委員につきましては、絵画、彫刻、古文書、建造物など、各専門分野より選任をいたすものでございます。</p> <p>今回、渡辺委員を初め11名の委員につきまして、全員再任をお願いするものでございます。任期につきましては、平成27年8月1日より平成29年7月31日までの2カ年となっております。</p> <p>以上でございます。</p>
永山委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>議案第78号と79号について、御意見、御質問はありませんか。（「ありません」の声あり）</p> <p>では、議案第78号日田市町並み保存審議会委員の委嘱について、議案第79号日田市文化財保護審議会委員の委嘱について、原案のとおり可決いたします。</p> <p>次に報告事項に入ります。</p>
永山委員長	<p>それでは、報告事項に入ります。報告第16号について、事務局からお願いします。</p>
書記	<p>それでは、議案集の21ページをお願いします。</p> <p>報告第16号平成27年6月期分の寄附採納についてでございます。地区寄附が1件、一般寄附が2件ございました。</p> <p>まず、地区寄附の寄附採納ですが、東部中学校育友会様から東部中学校へ屋内冷水機2台19万8,000円相当をいただいております。</p> <p>続きまして、一般寄附です。中城町の熊谷様から大明小学校図書購入費として2万円をご寄附いただいております。</p> <p>続きまして、玉川町の狩野様から三隈中学校備品購入費として200万円をいただいております。</p>

<p>永山委員長</p>	<p>6月につきましては以上3件で、金額が202万円と物品相当額19万8,000円で、合わせまして221万8,000円のご寄附なっています。</p> <p>報告第16号につきましては以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>報告第16号について、御質問などはありませんか。よろしいですか。（「はい」の声あり）はい。</p> <p>では、報告第17号をお願いいたします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>報告第17号平成27年度大分県学力定着状況調査結果についてでございます。</p> <p>議案集の22ページをお願いいたします。調査対象は小学校5年生と中学校2年生、調査内容につきましては（3）にあります教科と学習生活に関する質問紙でございます。</p> <p>（4）に本調査の報告にかかわる用語の説明をしております。</p> <p>初めに、大きな2番の調査結果の概要のうち、一番上にあります表をごらんください。これは日田市の各教科ごとの偏差値でございます。今回全ての教科で偏差値50以上を達成いたしました。昨年度は中学校英語のみ50に達しておりませんでした。今年度は全て達成をしております。このように標準的な学力の定着という観点からは、一定の成果があったと捉えております。</p> <p>その下の表は平均正答率でございます。非常に簡単に言いますと、1問1点で100点満点に換算したときの日田市の平均得点でございます。色つきの部分は大分県の平均を上回った教科でございます。</p> <p>中学校の結果をごらんください。今回中学校が全ての教科で大分県の平均より高いという大変うれしい結果となりました。一番下にあります昨年度の結果では、国語だけが県平均を上回り他の3教科は下回るという結果でしたので、大きな成果だと考えます。中学校の全ての教科で県平均を上回ったのは、平成22年度以来5年振りのことでした。</p> <p>一方、小学校では、国語、理科は、県の平均を上回っておりますが、残念ながら算数が0.2ポイント下回るという結果でございました。逆に小学校で県平均を下回る教科があったのは初めてでございます。</p> <p>ただ、この算数を偏差値で見た場合、昨年と全く変わっておりません。つまり全国と比較すれば日田市の算数の成績は変わっていない、けれど大分県の中では平均より下回ってしまったということに</p>

なります。

現在大分県の小学校の学力は九州のトップレベルになります。県全体で取り組んでいる学力向上対策の成果があらわれているところでございます。そのことから考えますと、県全体のレベルアップに日田市の小学校の算数において、ややついていけなかったという捉えになります。

23ページをごらんください。これは、この5年間の平均正答率の大分県比の推移でございます。100以上が県の平均を上回っているとなります。縦軸の100という数字で見たときに、先ほど申しましたように小学校で算数が初めて100を下回ったこと、中学校で5年振りに全ての教科で100を上回ったことがおわかりかと思えます。

24ページは、質問紙の調査結果でございます。この質問紙は67項目の質問がありますが、今回3つの項目に絞って分析を行っております。

1つは、教科などの勉強はどれぐらい好きですか。2つ目は、教科などの勉強はどれぐらいわかっていますか。3つ目は、家の人から言われなくても、進んで勉強しているという項目です。どれも学ぶ意欲に関する項目でございます。やはり学習結果を求めるには、この学ぶ意欲に火をつけることが大切だと考えております。色つきの部分が県比以上の項目でございます。

項目的には、小学校の国語は「好き」と「勉強がわかっている」という肯定的な割合が高いこと、中学校では国語と数学で「わかっている」という肯定的な割合が高くなっていると言えます。

次に、大きな5番目の現状と分析です。

小学校では25ページ上段にありますように、日田市学力向上アクションプランの成果指標から見ましても、全ての項目で下回っております。全体的に見て小学校では日田市でも事業改善等で学力向上には取り組んでおりますが、九州トップレベルになった大分県全体の伸び率に追いつけていないということが原因と考えております。

また、算数に関する質問紙の結果が、昨年の日田市の結果から比べてみましても3.4ポイントから2.7ポイント下がっております。算数がわかるという実感の低下が、算数の平均正答率の県比の低下と関係していると考えられます。

一方、中学校では、中ほどの色つき部分にありますように日田市アクションプランの成果指標からも上回っていることがわかります。中学校では授業改善とともに学力向上に係る4中学校連絡会を立ち上げ、その会議から発信した補充学習や家庭学習の改善の取り

組みや中学校数学部会、理科部会による確認テストの取り組みなど日田市独自の取り組みが身を結んできたことも要因と考えております。

質問紙でも、国語、数学、英語の肯定的回答が昨年度上回っております。このことから学習意欲を高めていくことが学力の定着につながっていくと考えております。

6項の課題につきましては、小学校算数の基礎基本の定着と活用力の育成、中学校では国語の活用と英語の活用において偏差値50に達しておりませんでしたので、その偏差値50を上回ることでございます。

また、小中学校共通して言えることは、学習意欲を高めることと学校間格差をなくすことが課題でございます。

最後に、今後の取り組みとしましては、(1)から(4)まで現在県全体で取り組んでいることと、日田市独自で取り組んでいることを確実に徹底させていくことが大切だと考えております。

特に小学校での大分県の学力は、九州でも非常に高いものでございます。これは県全体で取り組んでいることが成果として確実にあらわれているからだと思います。その流れに日田市の小学校が追いついていないのではないかと、今まで県平均を上回っていたことにやや安心したのではないかと、その意識を変えることが大切だと考えます。

そのためにも今回の成果を、結果を受けとめ、各学校での課題とその取り組みを検証する中で、県や市で現在行っている学力向上対策の徹底を図ることが大切だと考えます。また、中学校が見直しを進め改善を図っております補充学習や家庭学習についても、見直しを図ってまいります。

中学校におきましても今回大変うれしい結果が出ましたが、これで安心することなく授業改善、弱点を補強するための補充学習、つきたい力が確実に定着するための家庭学習の改善に向けて、引き続き取り組みを進めてまいります。

なお、27ページ、28ページは、県教委から報道等に出されました大分県学力学習状況調査結果の速報でございます。県全体の結果と各市町村の平均一覧でございます。御参考にしていただきたいと思います。

以上でございます。

永山委員長

ありがとうございます。

報告第17号について、御質問などありませんか。

<p>諫 本 委 員</p>	<p>今度非常にいい結果が出て大変よかったと思います。やはり私たちじゃなかなか細かいところはわかりにくいのですが、先生方の現場での努力とか工夫が、やはりこうやって結果に出てくるんだなというふうに思ったところです。</p> <p>23ページの上にある表ですね。先ほど説明された内容のとおりなんだろうと思いますが、小学校5年生の平均正答率、大分県比の推移ということですが、この3年間でずっと下がってきたように見えますね。これは逆に言うと、日田市の小学生が学力を維持しているということであれば、この3年間の間に大分県がずっと上がってきたといった捉え方で良いのでしょうか。</p> <p>今最後のほうの説明にありましたように、若干小学校に、もう一度頑張り直そうというようなことがありました。一応小学生も学力は維持しているんだけど、この表に関して言うと、形とするとこういうふうな出方をするということがよろしいのでしょうか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>委員おっしゃいますように、全国と比べたときの標準偏差で言いますと、やはり全部50を上回ってます。ですから、標準偏差というのは、その集団の位置といたしましよか場所になりますので、いつも全国の中で言うと、上位とは言いませんが真ん中よりも上にずっと維持していったと。</p> <p>ところが、この23ページのこの表というのは、正答率の県の比較になりますので、おっしゃいますように県全体がいろいろ取り組みをしていって、小学校のが上がってきているということです。</p> <p>日田市は、今までと同じような学力を保ちながらいってるんですけども、県のほうが上がってきてるので、今回、算数がこういう結果になっていったということです。それが少しずつ年間下がってきておりましたので、県比のほうが下がってきておりましたので、これから先小学校のほうが、この数値を見たときに頑張らなければいけない。私たちはもちろん手助けをしなければいけないというような気持ちでございます。</p>
<p>諫 本 委 員</p>	<p>それからすると28ページに、各市町村の偏差値の一覧がありますね。これを見て日田市のところをずっと見ていったときに、全国でこの位置にあるというふうな捉えでいいんですか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>この標準偏差の数値というのは、これは全国の中での位置どりになりますので、これで日田市の位置どりのというのがわかると思います。もう一つは、市町村で並べておりませんが全部わかりますので、大分県の中の市町村の中でどの位置にいるのかというのも、</p>

<p>教 育 長</p>	<p>一つずつ見ていくとわかるものではありません。全体的に色がかっている部分が多いので、大分県は特に小学校の側で高いというのが、ぱっと見たときにわかると思います。</p> <p>特に算数はもう全市町村50を超えており、徹底した取り組みが全ての市町村で行われています。ですから、この偏差値は全国でいうとかなり上位、九州でもトップレベル、小学校の算数は全国でも上位の偏差値になるというふうに思います。高いレベルでの定着ということになります。</p>
<p>永 山 委 員 長</p>	<p>ほかにありませんか。（「ありません」の声あり）よろしいですか。</p> <p>では、次に報告第18号について説明をお願いします。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>報告第18号夏休み短縮による「授業日確保の取り組み」をまとめてございます。</p> <p>議案集の29ページをごらんください。夏休み短縮による「授業日確保の取り組み」のまとめでございます。この結果は、昨年11月と本年4月の定例教育委員会で報告した内容に加えまして、6月に行いました保護者アンケートの結果を報告するものでございます。</p> <p>1番の（1）番、夏休み短縮により生み出された時間の使い方と（2）番の具体例は、4月の教育委員会で報告した内容でございます。夏休み短縮により増加した約30時間は、こちらからお願いしておりました①番、授業時間や学習時間、②番、学校行事や学級活動の時間、③番、先生と子供がしっかりと向き合う時間で活用し、それぞれ（2）番にありますように、各学校で創意工夫しながらさまざまな取り組みを行っております。</p> <p>（3）と30ページの大きな2番が、今回6月に保護者アンケートを実施いたしました結果でございます。この6月のアンケートでは、該当学校の昨年度1年間の約30時間の使い方のデータを示して、その時間数について表にありますように「ふやしたほうがよい」、「適当で減らしてもよい」で回答していただきました。その市全体の集約が（3）の数字でございます。</p> <p>①番の授業時間や学習時間では、70%ほどの保護者は「適当である」と考えておりますが、「もう少しふやしてほしい」という保護者が小学校で21%、中学校で27%でございました。中学校の保護者の学習の意識が高いことがわかりました。</p> <p>②番の学校行事等の時間では、80%ほどの保護者は「適当であ</p>

<p>永山委員長</p> <p>諫本委員</p>	<p>る」と捉えておりましたが、小学校の保護者の「ふやしてほしい」という割合が中学校より多かったという結果でございました。</p> <p>③番の子供と向き合う時間では、「適当である」という回答が小学校では60%でやや低く、「ふやしてほしい」という回答が35%あり、中学校の保護者の回答と大きな違いがございました。そもそも子供と向き合う時間は、小学校では平均3.7時間と中学校の6.0時間と比べて少なくなっております。小学校の保護者の方からすれば、もう少し個人面談や先生とのコミュニケーションのとれる時間を確保してほしいという結果でございました。</p> <p>30ページをごらんください。これは市教委への意見や要望の主なものでございます。「賛成・容認評価」、「反対・改善評価」、「その他の意見・要望」がございました。</p> <p>「賛成・容認評価」では、子供たちにとって有意義な時間をふやしてくれるなら、夏休み短縮はよいことだと思いう意見や、家でだらだらと過ごすより学校で授業や活動に当てるほうがよいという意見がございました。中には、そもそも夏休みは長すぎる、もっと短縮してよいという意見もございました。</p> <p>「反対・改善評価」では、夏休みは家庭や親戚等と過ごす時間を持つべきというような学校以外の場所での活動をさせたいという御意見や、土曜授業、行事の削減で授業日を確保したらどうかという御意見がありました。</p> <p>「その他意見・要望」では、短縮してもよいが1学期を延ばすほうがよいや、先生方の負担軽減の面、普通教室以外のエアコンの設置等の御意見がございました。今回授業日確保の取り組みの初年度のまとめとして、この29、30ページの資料に各学校独自のアンケート項目の結果や学校への意見要望等を加えまして、日田市内の全小中学校の1学期末の育友会で保護者に配布、説明をしたところでございます。</p> <p>市教委としましては、この取り組みを始めてまだ1年が経過したところですので、まずはこの取り組みが定着するよう、今回いただいた御意見の中ですぐにでも改善できるものは改善していきながら、取り組みのほうを進めていきたいと考えているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>報告第18号について、御質問などありませんか。</p> <p>この間の報告と今日の保護者のアンケートのことですが、これを</p>
--------------------------	---

<p>学校教育課長</p>	<p>見ても、おおむね評価をいただいている内容と捉えていいと思います。個別に御意見とかはいろいろいただいているので、その辺は参考にさせていただくというか、大事なことですけれども、おおむね理解と内容の評価を得ているということで、今言われましたように、改善できるところは改善するとかいうことでいいと思います。</p> <p>これを取り入れるときはいろんな意見をいただく中で、今この結果を見れば、これ要らなかつたねとか極端な話など、そういうことではなくて、それ相応の評価をいただいたところの中で、また改善をしていくという姿勢でいいのではないかなということですね。</p> <p>このアンケートの中で、「学校への要望」という欄がございました。その学校の中では、例えば宿題の件であったりとか、サマースクールとかの登校であったりとか、そういった御意見もございました。そういったところは運用の中で、学校のほうで改善できる部分がございますので、先ほど申しましたように改善、すぐにでもできる分は改善をしていく。市全体としては、これを定着するように進めていくというスタンスでいきたいというふうに考えております。</p>
<p>末次委員</p>	<p>その他の意見、要望の中に、先生方がゆとりを持って子供たちに向き合えるような負担軽減を図ってほしいという捉え方をしていますね。これは先生方のいわゆるどういう部分を負担軽減を図ってほしいという、何かその辺の内容がわかりますか。</p> <p>どういうことで、先生たちが非常に大変であるとか、学力や部活動が大変とか、精一杯子供と向き合える時間がやや窮屈だということであれば、何かこれを見たときにどういうお答えがあるかなと思って、行政として。難しいですね。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>これは保護者の意見でございますので、保護者の方がやはり先生方を見られて、やはり忙しいんだなと、夏休みが短くなったら忙しくなったんだなというふうに感じている部分だと思います。</p> <p>先生方の夏休みが終わって、すぐの声というのも、8月ですか9月ですか拾った中でも、まだ1年目でございますので、なかなか計画を立てるのが難しいとか、2学期の準備がすぐに進められずに困ったというところもございます。</p> <p>負担軽減については、例えば行事の精査をすとか、あるいはこちらで行う会議の数を減らすとか、一緒に抱き合わせるものは抱き合わせるとか、そういった形での負担軽減については図らなければいけないというふうには思っています。</p>

	<p>ただ、学校のほうでは、昨年については1回目でしたので、先生方のほうもいわゆる戸惑いもありながら、先生方の研修をどこに入れていいか、なかなか1年目わからなかったというような校長先生の御意見もございますので、2年目については運用の中で精査しながら、また一緒にできるものは校内の研修等一緒にしながら進めていくというようなお話は聞いております。</p>
末次委員	<p>保護者の方から、先生たちにそういう負担軽減を図ってほしいという声をいただくということは、ある意味では支えていただいているんだなという受けとめ方はしてもいいかなと思いますね。</p>
永山委員長	<p>ほかにはありませんか。（「はい」の声あり）よろしいですか。ありがとうございました。</p> <p>では、その他に入ります。8月定例教育委員会会議の日程についてお伺いします。</p>
教育総務課長	<p>お手元に8月の教育委員会の行事日程表をお配りしております。裏面をお願いいたします。8月の定例教育委員会は24日月曜日になります。1時半からの勉強会を開催させていただきまして、3時から定例教育委員会をお願いをしたいと思っております。ご都合のほうはいかがでしょう。</p> <p>（「24日、大丈夫です」の声あり）</p>
永山委員長	<p>8月24日月曜日ですね、よろしく申し上げます。</p> <p>そのほか何かございませんか。</p>
書記	<p>先月の6月定例教育委員会におきまして、旧中津江小学校の施設につきまして3点ほど質問がありましたので、答えさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、1番目に建物の2階消防詰所、ここがもともと何の部屋だったかという御質問がありました。ここは特別活動室という名称でしたけれども、教材など置いている、物置として利用していたということでございます。</p> <p>それから2点目は、災害時に避難場所になっているかという質問です。避難場所に指定されておりました、それに引き続きまた振興局という面がありますけれども、引き続き避難場所ということで指定されておるところです。</p> <p>それから、エレベーターがなぜ2階までしかないのかということで、このエレベーターにつきましては今度の改修で新設したもので</p>

永山委員長	<p>ありまして、利用者は1階の振興局、2階の公民館の利用というだけでありまして、3階は物置でございますので、2階までしか設置しないということでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>どうもありがとうございます。</p> <p>ほかにありませんか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>では、これで7月定例教育委員会を閉会いたします。長時間お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後4時45分</p>
-------	--